



にゅうようせ

乳幼セだより

R6.2 No.6

山口県
 乳幼児の育ちと学び支援センター
 ☎083-933-4450
 ✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

1年間ありがとうございました！

令和5年度の乳幼セだよりも最終号を迎えました。保育者フェスタや特別支援教育・保育研修、乳児保育研修といった研修会、保幼小連携などの乳幼セの取組や、幼児教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカーによるコラムを掲載してきました。少しでも身近に感じていただけていたら幸いです。

乳幼セが設置されて3年目の本年度は、昨年度よりもさらに多くの先生方と幼児教育・保育について考えることができました。新型コロナウイルス感染症も第5類に移行し、先生方と直接お会いして、協議や演習、実技研修を行うこともできました。来年度も、受講しやすいオンライン、オンデマンド研修の機会を確保しながら、実技や演習など対面開催だからこそのよさを活かし、学びの実感を伴った研修を行っていきたいと思います。アドバイザー等訪問においても、保育者の皆様はもちろん、行政や小学校、幼児に関わる施設の方達とも学び合うことができました。少しでも先生方に寄り添うことができていると幸いです。いつも先生方から頂くお言葉やアンケートがとても励みになり、また、どうしたらもっと現場のお力になれるかを考えるきっかけにもなっています。ありがとうございます。

令和6年度も、多くの先生方とお会いできることを楽しみにしております。乳幼セへの変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願いたします。

幼児教育プレアドバイザーより

初年度ということもあり、私ひとりというとても心配なスタートとなりましたが、そんな心配はよそに大変学びの多い一年となりました。様々な専門分野の話をアドバイザーの先生から学び、新任研修では助言をしながらも自らを振り返る良い機会を頂きました。乳幼セの方々は、企画・準備・進行と大変な上に周りへの気配りも忘れずで、素晴らしい環境の中で学ばせて頂きました。ありがとうございました。

幼児教育
 プレアドバイザーとは
 園の円滑な運営、教育・保育の質を高めるために必要なマネジメント及びリーダーシップの能力のさらなる向上をめざす保育者(次期幼児教育アドバイザー候補)のことです。

アドバイザー等訪問
 (1月31日現在)
 園訪問 115件
 研修会 129回
 参加者 8,856名



乳幼セ主催研修会
 (1月31日現在)
 研修会 45回
 受講者 6585名

乳幼セコラム いっぽ

発音のこと

幼児教育アドバイザー 近藤 公

子どもが、一生懸命話しているのに、発音がはっきりしないために、本人の気持ちを十分に受け取ってあげられないことはありませんか？

4歳くらいまでは、たどたどしい言い方や発音は「言い方がかわいいな。」「そのうちはっきり話せるようになるかな。」と思われることも多いと思います。ほとんどの子ども達は、成長に伴って、正しい発音を身に付けていきますが、何らかの要因で、誤った発音のまま大きくなって、発表や話し合いの時、何を言っているか聞き取りづらく、友だちから「もう一度言って。」「なんて言ったの?」と言われて、おしゃべりがいやになってしまうことがあります。



たとえば、こんな発音が、大きい組になっても残っている子どもさんはいらっしゃいませんか？

「みかん」→「みたん」、「ひこーき」→「ひとーち」、「くつした」→「くちゅちた」、「めがね」→「めだね」。

発音の習得時期はおおむね4歳半から6歳半までですから、はっきりしない発音が多い場合は、口や舌の動かし方の練習をすると、改善することも多いです。また行動面が気になっている子どもへの支援のきっかけとしても、発音練習から入れば、保護者の方の抵抗感や不安感も少ないかな、と思います。子どものおしゃべりにちょっと気を付けてみてください。